

な が い  
**長井**  
**ふるさとガイド**



# ながいガイドマップ Guide Map

わたしたちのふるさと長井に  
はたくさんの「たからもの」  
があります。わたしたちもそ  
の「たからもの」をたくさん  
見つけて未来へ引き継いでい  
きましょう。

## 凡 例

- 黄色の道…広い道  
(国・県道など)
  - 白色の道…少し狭い道  
(県・町道など)
  - 灰色の道…細い道  
(林道・登山道など)

やはら  
八原

幸谷川

ふじ  
薙

なかの  
中野

## アセビ川

おおの  
大 野

こばら  
小原

おおだにがわ  
大谷川

おおだに  
大 谷

さんだにがわ  
筍谷川

みたに  
三 谷

やだがわ  
矢田川

## かじかの 加鹿野

すから  
守 柄

111

こばらがれ  
小原川

すからがわ  
守柄川

# ながいガイドマップ

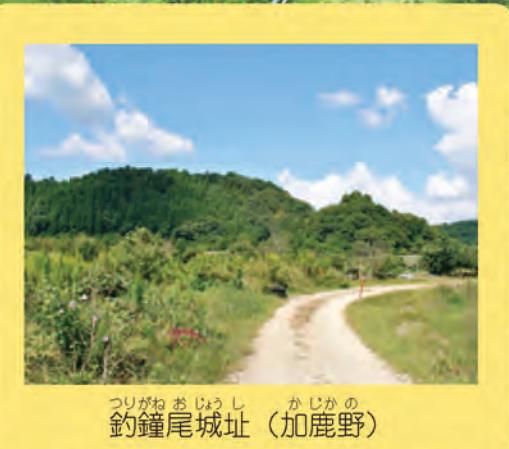
Guide Map

## 守柄・加鹿野・三谷・大谷

みかわさん みち  
三川山への道しるべ



こやすじぞう みたに  
子安地蔵(三谷)

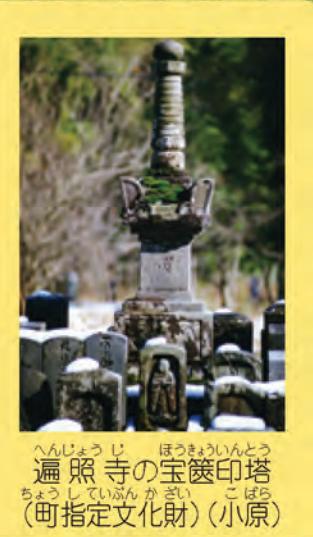


## ながいガイドマップ Guide Map

### 大野・小原



おおのじょうし  
大野城址 (大野)



へんじょうじ  
遍照寺の宝篋印塔  
ちょうしていぶんかざい こばら  
(町指定文化財) (小原)

かまたりじんじゃ  
鎌足神社

こばら  
小原

くらはしじんじゃ  
棕橋神社

へんじょうじ  
遍照寺  
本堂 (大悲殿)  
大師堂  
鐘樓堂  
宝篋印塔

みちび  
じぞう  
導き地蔵

こばらがわ  
小原川

まんじはいじあと  
萬寺廃寺跡

まんじいけ  
萬寺池

みはしらじんじゃ  
三柱神社

おおのじょうし  
大野城址

とのさま  
殿様の足洗い石

矢田川レインボー

やだがわ  
矢田川

長井小学校・幼稚園  
長井地区公民館



あさい  
じぞう  
浅井の地蔵 (大野)





# ふるさとを歌う 長井郷土歌

さくし  
作詞  
さつきく  
作曲  
原孝  
ひろた  
弘田 龍太郎

私たちのふるさと長井地区には個性豊かな村々を歌った長井郷土歌があります。この歌が作られた頃を想像しながら歌われた場所をめぐり、歌い継いでいきましょう。



1 たの  
さても楽しき わが郷土は  
矢田の川辺に うち沿いて  
景色はうつる 山川の  
四季の眺めの うるわしさ



2 おく  
守柄の奥に そびえたる  
五輪の山の 朝ぼらけ  
ふもとは霞 たなびきて  
高嶺は燃ゆる 雲の色



3 やさか  
八坂の森を もり  
きよ ふちせ 清き渕瀬に うちめぐる  
あゆ かたか 鮎の香高き きらめきて  
す 過ぐればそこは 加鹿野を  
三谷なり



4 みぎ  
右てに仰ぐ あお 宮山の  
たか こずえ 高き梢に みややま  
ひ ひ  
みやい おく 宮居の奥の 陽がさして  
みのり おく ひ  
御典かしこき しづ 静けさよ  
法典寺



5 おおたにかわ  
大谷川の やまふか  
はつなつ 初夏そよぐ 青嵐  
つづ やまじ 続く山路の はるばると  
こ 越ゆればやがて みかわさん  
三川山



6 たましば  
玉芝生うる お 大野原  
がわべ 川辺へだてて はら  
あせ いたき 阿瀬の頂 ちか  
ゆう や 夕焼けて  
おもかげ 面影しのぶ しろ あと  
城の跡



7 たむ  
手向けのぬさと くらはし  
神社の庭の 老杉の色  
ぬか 額づくほどに ひは落ちて  
がね ねさび 鐘の音淋し いろ  
法典寺 遍照寺



8 ふ  
吹く風薰る かぜかお  
あせの 阿瀬野の川の みづ うえ  
かわ 河鹿の声の さらさらと  
かじか こえ 細りゆく  
さと 中野の里は とお 遠からず



9 かわ  
川の彼方に かなた み 見はるかす  
こ まかく 木の間隠れの さと 藤の里  
し がつよう か 四月八日の えんにち  
まい にぎ お詣り賑わう やくしそん  
薬師尊



10 おく  
八原の奥の もりかけ  
ていじょ さて 森陰は  
貞女小手子の ほごら 祠あり  
いま つた 今も伝うる よがた 世語りは  
みさお かがみ 操の鑑 とこしえに



11 たの  
さても楽しき わが郷土よ  
がみ まも 神の守りの はにやすに  
うま さち 生れし幸を あじわいて  
おし みち 教えの道に すす 進みなむ



# 長井の歴史

## 貞女小手子の物語

八原地区上辺に、小手子の森があります。ここは貞觀(859~877)の頃、日置部小手子が居住していたと伝えられています。「女性の鑑」と称賛された人で、1870年出石藩女学校の祭神に加えられました。



小手子の森

## 長井の山城 大野城、釣鐘尾城

### 釣鐘尾城

加鹿野の釣鐘尾城は、標高60メートルの山頂に3,000m<sup>2</sup>の平坦地がある町内最大規模の城址です。平坦地は2段になっており、1段高い場所には釣鐘がおかれていたといわれています。香住の志馬比城、一日市の塔の尾城と一直線にならんおり互いに勢力をあらそっていました。



大野城址のふもと

### 大野城

大野にある大野城は、標高70メートルの頂に1,000m<sup>2</sup>の平坦地があり、周囲を堀切、曲輪で防御しています。山麓には風呂屋の谷、殿屋敷、蒸殿など

の地名が残っており、城主の住まいがあったことが想像できます。



池野奥たらあと

## 長井の鉱山

大谷、八原、守柄の山の中ですっしりと重い鉄のような塊が落ちていることがあります。これは「鉄滓」と呼ばれるもので、鉄を作る際にできた不純物の塊です。「鉄滓」が落ちているということは、この近くで製鉄をおこなっていたということがわかります。この製鉄を得る方法を「たら」と呼び、原料の砂鉄を木炭で熱して不純物を取り除く際にできるのがこの「鉄滓」です。

時代	主な出来事
古代	じいがかま・ばあがかま古墳(守柄)、南住遺跡(八原)、藤遺跡(藤)
中世	大野城(大野)・釣鐘尾城(加鹿野)築城
近世	1603 德川家康が江戸幕府を開く 1678 中野・大野で境界論争 1700年頃 遍照寺(鐘樓堂 本堂 太師堂)建立
近代	1867 明治維新 1874 豊岡県美含郡第三番学区小原小学校開校 1887 兵庫県美含郡第七番区小原簡易小学校と改称 1888 長井村立長井尋常小学校と改称 1895 小学校校舎を大野村浅井に移転 1897 高等小学校併置認可により長井尋常高等小学校と改称 1908 久斗山分離により九ヵ村となる 1941 長井村立長井国民学校と改称。尋常科を初等科とする、太平洋戦争開戦 1945 太平洋戦争終戦 1947 新村制により長井村立長井小学校と改称、長井村立長井中学校開校 1955 香住町と長井村との町村合併により香住町立長井小学校と改称 1956 長井中学校が香住第一中学校に統合される 1957 校区改変により、守柄・加鹿野地区の児童20名が、香住小学校へ転出する 1960 長井診療所開設 1964 藤地区 薬師橋(鉄骨製つり橋)完成 1969 長井簡易水道供用開始 1976 長井小学校校舎竣工 1979 長井地区公民館建設 1985 藤地区 新薬師橋(コンクリート製)完成 1988 大谷橋を新橋に架け替え 1990 台風19号により大野橋損壊(92年に新橋完成) 1994 広域ごみ処理施設「矢田川レインボー」完成 1995 大谷に町営住宅4戸建設 1997 長井北集合処理施設(下水道)供用開始 1998 長井南集合処理施設(下水道)供用開始 2000 林道 池ヶ平線(小原・浜坂久斗山間)開通 「かすみ・矢田川温泉」営業開始 2005 香住町が村岡町・美方町と合併して香美町となる



藤の旧薬師橋

